



学校便り

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> Eメール kanai-es@sado.ed.jp

佐渡市立金井小学校 平成28年9月23日 第6号

実りの秋がスタート

校長 羽二生 裕

朝晩涼しくなり、秋の気配を感じる頃となりました。2学期が始まり3週間が経ちました。子どもたちは2学期の学校での生活リズムを取り戻し、学習や運動に一生懸命、取り組んでいます。



あいさつ応援隊

2学期に入り、6年生を中心とした「あいさつ応援隊」が国道沿いの登校入り口で、子どもたちに挨拶をしています。自分から進んで「あいさつ応援隊」に参加する子どももいます。6年生の担任は、「子どもたちがどこまで頑張れるか見ていようと思います。」と言っていました。私が国道沿いに立っていると、ランドセルを門の側に置いて「あいさつ応援隊」に加わる6年生がいました。するとその子の登校班の1年生の子どもが、登校中に転んだようで、私にその傷口を見せてくれました。6年生のリーダーが「あいさつ応援隊」に加わったため、3年生の男の子が「学校はもうすぐだよ。大丈夫だよ。頑張って歩いて行こう。」と優しく声を掛けてくれました。微笑ましい朝の光景であり、私は3年生の男の子から優しさと元気をもらったような気がしました。

さて、秋の遠足が終わり、子どもたちは今「スポーツの秋」を迎えています。10月4日（水）にある校内マラソン大会に向け、子どもたちは毎日「チャレンジ（業間）マラソン」を頑張っています。また放課後には、5・6年生全員が「市小学校親善陸上大会」に向けて陸上練習をしています。特に小学生にとっては、長い距離を走り通すのは誰でも苦しいものです。しかし、走りきった達成感や満足感は、練習を頑張ってやり遂げた人には必ず返ってきます。先日、読んだ書物の中に『よい結果を生むためには、よいプロセス（過程）を踏むことが必要であり、きちんとしたプロセス（過程）を踏むからこそ、よい結果が出るものである』という記述がありました。よい結果を「よいタイム（記録）」に、よいプロセス（過程）を「練習」と考えることができます。やはり、練習を本気で頑張る子どもに育てて欲しいものです。学校で行われる教育活動は、学校行事も運動も学習もそれらのプロセス（過程）が最も大切であると私は考えます。今、子どもたちが頑張っている「チャレンジマラソン」には、**3つのめあて**があります。この3つのめあてに向かって、本気で頑張れる子どもを、体育の授業や「チャレンジマラソン」で育てています。

- (1) 自分の体力に合った一定のペースで走り通す子ども。
- (2) 誰の心にもある自分の弱い心に負けないで練習する子ども。
- (3) 自分の体や心と対話しながら、体調を確認して走る子ども。



この80日間の2学期は、心と体を鍛える**体育行事**（「校内マラソン大会」「市親善陸上大会」）や**文化行事**（文化祭での「学習発表会」や器楽部が参加する「市小学校音楽発表会」）など、多くの学校行事があります。子どもたちとともに「**実り多い2学期**」になるよう頑張っていきます。2学期も保護者や地域の皆様の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。